

第1回 日本国際小児保健学会 学術大会 2017

1. 参加登録

抄録集準備の都合上、大まかな参加者数を把握しておきたいと思います。恐れ入りますが、事前参加登録にご協力ください。尚、事前参加登録者も当日登録者も、参加費は同じく 1000 円です。事前登録者の、事前振込はありません。参加費は全員、学会当日、会場でお支払い下さい。また、懇親会についても参加者の数を把握したく存じます。時間の許す方、多数ご参加ください。

1) 事前参加登録期間

2017年6月12日(月)～7月30日(日)

2) 参加登録費

	事前参加登録	当日参加登録	懇親会
会員	1,000円	1,000円	3,000円
非会員	1,000円	1,000円	3,000円
学生(院生を含む)	1,000円	1,000円	2,000円

2. 演題登録期間

2017年6月19日(月)～7月20日(木)

3. 大会長

中村安秀(甲南女子大学教授・大阪大学名誉教授)

4. 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 教育研修棟(東京都世田谷区大蔵2-10-1)

<https://www.ncchd.go.jp/access/>

5. 連絡・問い合わせ先

<事務局>

第1回 日本国際小児保健学会 学術大会 2017

聖マリア病院 国際事業部内 担当:浦部、緒方

〒830-8543 福岡県久留米市津福本町 422

TEL:0942-35-3322 FAX:0942-34-3336

E-mail:jicha@st-mary-med.or.jp

第 1 回 日本国際小児保健学会

演題抄録の登録

1. 登録期間

登録受付開始 2017 年 6 月 19 日（月）

登録受付締切 2017 年 7 月 20 日（木）

2. 登録要領

（1）応募資格

筆頭著者は、日本国際保健医療学会会員に限ります。

筆頭著者で未入会の方は、学会当日で結構ですので入会手続きをお済ませください。

（2）応募方法

1. 発表時の言語をお選び下さい。（日本語か英語）
2. 筆頭著者の氏名、所属機関など、共著者分も含めてご入力ください。
3. 演題名は日本語か英語で作成ください。
（全角/半角：一般演題 800 字/250 ワード、シンポジウム 1200 字/500 ワード）
4. 抄録はワードファイルにして、事務局(聖マリア病院： jicha@st-mary-med.or.jp)にお送りください。ファイルには、『演題抄録』とわかるような名前を付けておいて頂けるとありがたいです。事務局で抄録ファイルを受け取りましたら、できるだけ速やかに受け取りの返信をします。数日たっても受領の連絡が無い場合は、事務局にお問い合わせください。
5. ご自身の連絡先を忘れずにご入力ください(E-mail アドレス、電話番号)。

※1 研究種類

①学術研究

以下の条件を満たしている学術的研究です。

背景： 研究の目的や著者自身の仮説が明確に述べられており、分析または評価対象となる問題や研究の重要性についても説明されている。

方法： 研究対象地域、研究デザイン、研究対象集団、データ収集、分析手法について明確に述べられている。

結果： 特筆すべき結果と合わせて、明確かつ詳細な研究結果の概要が述べられている。

結論： データと結果の考察が簡潔に述べられ、研究目的に合致した結論が述べられている。

②フィールド研究

学術的な研究としての手法よりも、プロジェクト評価や事例報告など、フィールドでの貴重な知見に重点をおいた以下の内容が含まれている研究です。

はじめに： 研究目的及び問題の背景について簡潔に述べられている。

概 要： 活動、プロジェクト、事例などの概要が明確に述べられている。

考 察： 活動やプロジェクト結果から得られる示唆や考察が述べられている。また、知見の根拠となるデータが示されている。

ま と め： 研究の結論および、今後の活動への提言が述べられている。

①②共に、国際保健における新しい知見やコンセプトを提示するもの、そして、成功事例だけでなく、失敗事例からの分析も歓迎いたします。

※2 発表形式

1. 一般口演 Oral presentation
2. 各種講演、(ミニ) シンポジウム
3. 発表時間 **7** 分、質疑応答 **3** 分

※3. 登録に関する注意事項

1. 発表は未発表のオリジナル演題に限ります。
2. 抄録は、日本語抄録・英語抄録のいずれかで登録してください。
3. 抄録本文は、学術研究・フィールド研究それぞれに従って以下どちらかのフォーマットを選択してください。

日本語：学術研究：【背景】、【方法】、【結果】、【結論】

フィールド研究：【はじめに】、【概要】、【考察】、【まとめ】

英語：学術研究：【Background】、【Methods】、【Results】、【Conclusion】

フィールド研究：【Introduction】、【Outline】、【Discussion】、【Conclusion】

4. 字数制限は以下の通りです。

抄録本文（日本語および英語、日本語：全角 800 文字まで、英語：半角 250 ワードまで）、演題名（日本語および英語、日本語：全角 100 文字まで、英語：半角 40 ワードまで）、筆頭著者所属機関名（日本語および英語）、共著者所属機関名（日本語および英語）、筆頭著者氏名（日本語および英語）、共著者氏名（日本語および英語）。

演題名、抄録本文、筆頭著者氏名、筆頭著者所属機関名、共著者氏名、共著者所属機関名含む総合計で、全角 1,100 文字までです。

画像の登録はできません。

※4. 利益相反

第1回日本国際小児保健学会 学術大会演題発表に際して、発表者（演者）と共同研究者・共同発表者の利益相反の開示をお願いします。詳細は以下の通りですので、必ずご確認の上、演題の登録をお願いします。

対象者及び対象

1. シンポジウム、講演に際しては利益相反関連事項への記載が必須になります。
2. 報告対象となるのは(1)発表者、及び(2)共同研究者・共同発表者です。
3. 申告すべき対象は、発表内容に関連する企業や営利を目的とする団体との関係についてです。

発表に際しての個人情報開示項目

1. 当日発表の際に、口頭発表者はスライドの2枚目に掲示して下さい（必須）。
2. 抄録提出日を基準として過去3年間について開示をして下さい。
3. 開示内容に関しては、プログラム集・抄録集には記載されません。

(3) 演題受理通知

演題提出後、メールで演題提出者に演題受理の連絡をいたします。それを持って採用とさせていただきます。

3. お問い合わせ

登録に関してご不明の点がある場合は、第1回日本国際小児保健学会学術大会事務局ご連絡ください。

4. 事務局<内容に関する問い合わせ>

聖マリア病院 国際事業部内 担当:浦部、緒方
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町 422
TEL:0942-35-3322 FAX:0942-34-3336
E-mail: jicha@st-mary-med.or.jp

第一回 日本国際小児保健学会

大会長あいさつ



「世界の子どもたちの健やかな成長発達を願って」

甲南女子大学教授・大阪大学名誉教授
中村安秀

1995年3月、岐阜市で開催された第98回日本小児科学会学術集会の夜に、三重大学小児科櫻井實教授をはじめ有志が集まり、決起集会をもちました。当初から、Japan International Child Health Association (JICHA) のキーワードは、「子ども」「健康」

「国際」でした。毎年、日本小児科学会と日本国際保健医療学会に合わせて研究会やシンポジウムを開催し、世界のこどもたちの健康のための情報交換と自由な議論の場を提供してきました。

その後、日本小児科学会の分科会として承認を受けることができ、若い世代の方々が組織の運営に積極的に関与するなかで、このたび浦部大策会長のすばらしいリーダーシップのもとで学会になったのはうれしい限りです。最初の発起人の一人として組織の成長発展を寿ぎたいという一念で（幼児期から

療2011年の東日本大震災に際して、日本には海外から過去最大規模の支援が寄せられました。グローバル世界のなかで、人と人がつながり、国と国がつながっています。当然のことながら、国際的な緊急支援を行うこともあり、ときには緊急支援を受ける側に回ることもあります。東日本大震災のときには、スーダン共和国の高校生が自発的に募金活動を行い、集まった義援金を大使館に届けたといわれます。世界から共感と連帯の支援を受けたことを忘れることなく次世代に語り継ぐとともに、今後、国境を越えたグローバルな双方向の関係性のなかで、ともに学びともに育つ国際小児保健医療の新しい共生のあり方が問われています。

もジャパンを含む世界の子どもたちのために、「子ども」「健康」「国際」の実践活動と研究成果を蓄積してきたJICHAが果たすべき役割はますます増大しています。混沌とした世界の政治経済情勢の中で、現場を根ざしたJICHA学会の理念とネットワークがグローバル世界に輝きをもたらすことを期待しています。

式
を
祝
う
よ